



樹蔭静け

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL: 0155 (37) 5501
発行日 令和2年9月30日

みんなの青春が栄えますように！～教育実習生からのメッセージ

秋に延期された教育実習。縮こまりがちな教育現場に爽やかな風を運んでくれました。教育実習を終えた実習生からのメッセージをお届けします！

◆佐藤有沙（国語：藤女子大）

自分にとって大切なことを疎かにしないように気をつけてください。イベント事に全力で馬鹿になれることが三条生のいい所だと思います。みんなの青春が栄えますように！

◆高階 玲（国語：藤女子大）

今、思うのは「しっかり授業を聞いておけばよかった」ということです。自分の興味を深め、できることを増やして行ってほしいです。そして何よりも高校生活を楽しんでください。みんなの活躍を心から祈っています!!!

◆後藤蘭菜（国語：藤女子大）

高校生活は長いようで短いです。もっとこうすればよかったなあと思うことが沢山あります。高校生でいられるのは、一生のうちの3年のみ。今しかできないことを沢山楽しんで、後悔のない高校生活を送ってください。

◆田頭菜緒（保健体育：国士舘大）

私は三条高校で先生や友達のおかげでたくさんの素敵な思い出ができました。出会いを大切に、毎日過ごしてほしいです。出会いは宝です。人生は一度きりです。皆さんの活躍を応援しています！

◆石井伸明（保健体育：関西大）

時間は一瞬で過ぎてしまいます。迷ったら行動してください。人の多くはしなかったことに対して後悔をします。今を全力で過ごしてください。勉強も、恋愛も、部活動も。あと、たくさん遊んでください!!!!

◆津村亮雅（保健体育：日体大）

母校での実習、色々と思い出しながら3週間過ごしました。まさか、教

員という立場で三条に戻ることがあるとは思っていませんでした。優しく真面目な生徒が多く、楽しく授業することができました。

◆鈴木佳奈（音楽：武蔵野音大）

三条生ってあったかいなと思える期間でした。「○○だけやっていたい」と思うことも少なくないと思うけど、勉強も部活も、先生やクラスメイトとの関係も全て学んでこそこの学校生活。全て上手くいく！なんてことはないけど何事にも挑戦できる人でいてください。一緒に頑張ろう！

◆吉本侑市（音楽：東京音大）

きっとみなさんは今、それぞれの「壁」と戦っていると思います。ですがみなさんならきっと乗り越えられると思います。体調管理（特にコロナウィルス）には十分気をつけて、高校生活を思う存分楽しんでください!本当にありがとうございました。



大学入試共通テスト説明会に181名

9月4日学業検査終了後、体育館にて大学入試共通テスト説明会が行われました。参加者は181名。今年度の試験日程が2通りに設定されたこと、それに伴う手続き上の注意事項などを確認しました。



佐藤進路指導部長は、「国公立志望ではなくても、受験機会を増やすために共通テスト利用の受験も考えるよう指導しています」とした上で、「報道でも話題になったように受験日の指定が願書に記載する欄がないため、別紙で確認するようにしています。下書き段階から先生方もチェックしますが、注意事項をよく読んで不備のないように記載してほしい」と話しました。生徒は真剣な表情で説明に聞き入り、体育館は緊張した雰囲気になりました。この後学校で一括して出願することになっています。

学習指導員の方を紹介します

9月7日より学習指導員として小山内珠美さんに勤務していただくことになりました。今年度いっぱい本校の学習環境を整える仕事をメインに、先生方の業務のサポートをしていただくことになっています。

小山内さんご自身も本校の卒業生です。今の三条生の印象を尋ねると「挨拶もしっかりできて、とても実直な印象をもちました。私が作業をしていると『お願いします』とか『ありがとうございます』とか、お礼の言葉はもちろん、時にはねぎらいの言葉までかけてくれて嬉しい驚きがありました」とにこやかに答えてくださいました。「進学にしても就職にしても自分の目標が叶うように学校生活を謳歌してほしいです。そのために少しでもサポートできるよう私も努力していきます」と話してくださいました。

今後ともどうぞよろしくおねがいします！



第5回 生徒支援部長 田原 志津子 教諭

書道はある種スポーツです！

◆高校時代は意外にも…書との出会い

書に本格的に取り組んだのは大学になってからです。習字は子どもの頃に習っていました。私たちの世代は習い事といえば習字と珠算。そのどちらもやっていました。中学では友達に誘われるまま運動部に入りました。中学はバレーボール、高校は陸上。スポーツが嫌いではなかったのでそれなりに楽しくやっていました。

小学校の先生になりたかったんです。それで教育大を目指していたんですが、共通一次が今ひとつで、第一志望は厳しい感じ。でも我が家では私大も予備校も許されない状況で、自宅浪人は絶対避けたい。そこで担任の先生からのアドバイスにあった中学校課程書道科に「書道いいかも！」と受験を決めました。芸術の選択は美術だったんですけどね。(笑) 本当に人生って、出会いや偶然的出来事で変わるものです。教員も小学校で受験したら高校採用になって。高校は書道という枠はなくて国語での採用になります。ところが運の良いことに、初めの学校で書道専任になることができました。目の前にあるものを一生懸命やることで知らないうちに自分にとって楽しいことや自分を生かせる道がひろがることもあるのです。

◆書の魅力

書の創作は決められた紙の中にどんな字を書くか、どの言葉にするかを選ぶところから始まります。好きな言葉だからいい作品になるわけではないし、自分の得意な字を書くだけでもいいものにならないのです。また、こんな字にしたいと思って書いたとしても必ずしもいい

字になるわけではありません。もちろんこんなイメージでというのは大事ですが、あんまり意図が前面に出るのもダメなものなのです。みえみえなんですね。だから力が抜けて自然と身体が動いた時の方が作品としてはいいものになります。100回に1回あればいい方ですね。イメージ通りに身体を動かすのが難しく、体力も必要です。意外とアスリートなのです。でも最近は足腰がちょっと…。(笑) 10月1日の書道パフォーマンスもそんな視点で見たいと思います。

◆人生を創ることを楽しんでほしい

私は授業や部活動を通して刺激をもらっていますが、いくつになってもわからないことが多く新しい発見だらけです。生徒は3年の高校生活の中で本当に成長していきます。でも今は、先が見えない大変な状況です。ただでさえ自分の将来について悩む年頃です。授業や部活動はもちろんですが、生徒支援部として先生方と情報を共有し、生徒ひとりひとりに寄り添っていかれたと考えています。

どんな時代であっても何かを創り出すことは喜びです。自分の人生を創ることをあきらめず、逆に創り出す喜びを感じてほしいと思っています。

インタビュー

きらり

三条高校で輝いている生徒を紹介します。インタビュアーは校長です。

十勝総合振興局「ゆるっと未来トーク」に参加

2年2組 柳谷 綾香 さん 2年4組 堀内 遙 さん



【左：堀内さん、右：柳谷さん】

二人だけだったということでしたが、「皆さんがとてもやさしく気軽に話ができる雰囲気でした」と柳谷さん。そんな中で今回のテーマ「十勝の良い点悪い点」を発表した二人。堀内さんは「十勝の良さとして空の青さと広さをあげました。ただ単にそれがあるというだけではなく、空を見上げる時間や心の余裕があるところが良いと思っています。」柳谷さんも「自然、星が見えること」とあげたそうです。一方悪い点は、「車のマナー」(堀内さん)「夜の道が暗いこと」(柳谷さん)の他に、二人とも「高校生が遊べる場所・施設がないこと」で

一致。高校生にとって切実な問題のようです。

この「ゆるっと未来トーク」は、あと2回議論を深めていくそうなのですが、一足先に「目指すべき十勝の姿」を考えてもらいました。

堀内さんは「可能性をつぶさない社会にしたいです。将来、なりたい職業や学びたいものがあるのに、ここでは叶わないからという理由であきらめたくはないです。自分がやりたいことに挑戦できる十勝であってほしい。」柳谷さんは「若い人たちが十勝を出ていくことは、ある程度仕方ないことだと思います。でも十勝が将来帰ってきたいと思えるような場所であるかが大事なことです。難しいこととは思いますが、私が考える解決策は総合大学を作ることです。」と答えてくれました。真剣に十勝の将来を考える二人に頭が下がります。高校生代表として今後お願いします。

最後に三条高校の魅力を聞いてみました。二人とも「進路希望に合わせて比較的自由に科目選択ができること」をあげてくれました。しっかり自分の将来像も描いているようです。目標に向かって頑張ってください！

